

絆 (きずな) 通信

子供たちの健やかな成長のためには保護者同士のスムーズなつながりが大切です。しかし、この横のつながりがうまく作ることができず、子供同士のトラブルの解決が遅れたり、学校へ解決をお願いしたりすることがありました。「保護者同士で解決できるトラブルは保護者で解決できる大人」でありたいと思います。そのための横のつながりを作るきっかけに、この通信がなればと考えています。

第1回目は、「SNSとの付き合い方」です。

大人のSNSマナー

次の注意事項は「日本陸上競技連盟公式サイト」からです。(未掲載)

これは無断で選手の姿を撮影し、SNSに掲載するマナーのない人が増え、選手等を守るために行われました。

- 1 無断で撮影される。(一次被害)
- 2 SNS上に掲載される。(二次被害)

といった被害から守るためです。

学校での撮影はどうでしょうか。



多くの保護者の皆様が子供たちの生き生きとした姿・表情を写真や動画で撮影していませんか。家族でそれをもとに家族団らんの際に活用することは、昔はできなかったとても効果的な方法ですね。でも、それをSNSに掲載すると・・・。

学校のHPでは、肖像権の確認等を行い、かつ氏名と顔が一致しないなど考えながら掲載していると聞いています(現にそのようになっているようです。)しかし、保護者の皆様はそのような確認をしていません。**個人で撮った写真や動画はあくまで個人(家族間)で楽しむのみで活用することが望まれますし、それが「大人のSNSマナー」**ですね。どのような理由があってもです・・・。見たい人の気持ちと同じくらい、他の人には勝手に見られたくない人の気持ちを考えることが、「SNSのマナー」なのかもしれません。(大人だけではありませんね)

今後、小体連などの大会をはじめその他教育活動で子供たちの姿を思い出に残したいと考え、保護者の皆様は取り組まれると思います。その**写真等をSNS(特定のグループ内も同様です)に掲載することのないようにすること、PTAとして確認しておきましょう。**これができないと、将来的に全ての教育活動は撮影ができなくなる可能性がないわけではありませんので・・・。

絆 (きずな) 通信

今回は、人間関係づくりについてです。参考として、校長先生の学校だよりと6月に行われた教養委員会主催の家庭教育学級を紹介します。

第2回目は、「飛び込め・受け入れろ」です。



「飛び込め・受け入れろ」

さて、「自分が嫌だな。」と思ったとき、その相手にしっかりと伝えることは得意でしょうか。これができればよりよい関係だと思います。

かなり前の学校だより「飛び込む勇気と全てを受け入れる寛容」という言葉が紹介されていました。

<学校だよりHPより>

保護者同士の横の関係も、まずは

相手に伝える

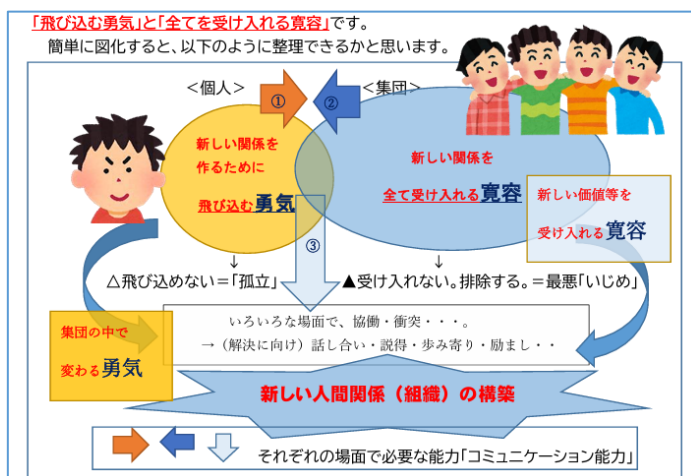
(飛び込む勇気)

相手の気持ちを受けとめる

(受け入れる寛容)

でいってみませんか。

受け入れた後、互いに意見を出し合い、調整などしていくといいと思います。よりスムーズな関係を保っていくには「コミュニケーション」が必要になってくるんですね。



『「イヤだ」は嫌いとは違うよ。』という言葉。6月に行われた家庭教育学級の先生の言葉も参考になりますね。飛び込む側も受け入れる側も、この思いは互いに持っていることが大切だと思います。

「飛び込む」にしても「受け入れる」にしても大切なのが「コミュニケーション」。PTAとして保護者同士でコミュニケーションがもてる機会を設けていきます。まずは2学期に「保護者の集い」そして「慰労会」を。ふるって(だまされたと思って)参加してください。

この通信の第3号は「保護者の集い」

「慰労会(保護者の集い)」です。